

しろくま通信



先々週から福岡市東区箱崎にある『筥崎宮』について書いています。

筥崎宮は筥崎八幡宮と言われ、宇佐、石清水両宮とともに日本三大八幡宮に数えられます。

主に祭られる神は応神（おうじん）天皇で、母親である神功（じんぐう）皇后が朝鮮半島の新羅（しらぎ）に出兵して後帰国、筑紫国蚊田（かだ）の里、現在の糟屋郡宇美町で、槐（えんじゅ）の木につきまわり、立ったままの姿勢で出産したと言われていています。それを宇瀨（うみ）。その後、宇美（うみ）と称し、ここが現在の宇美八幡宮となります。そのため「安産・育児」の信仰が特に篤く、多くの方が安産祈願や御礼参り（初宮詣）に参拝されます。

応神天皇のへその緒は、箱に入れられ川に流されました。これが博多湾に流れ出てたどり着いた先が「筥崎」というわけです。この箱は埋められその上に松を植えました。本殿に向かって右脇にある「筥松」がこれです。「筥」の字は天皇家に由来することが多く恐れ多いと言うことで、人々の生活の場では「箱」の字が使われるようになりました。箱崎と筥崎宮の字が違うのはこのためです。



筥松（筥崎宮）



大楠（宇美八幡宮）

（樹齢約 2000 年、幹周 15.7m、樹高 20m）

前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！

